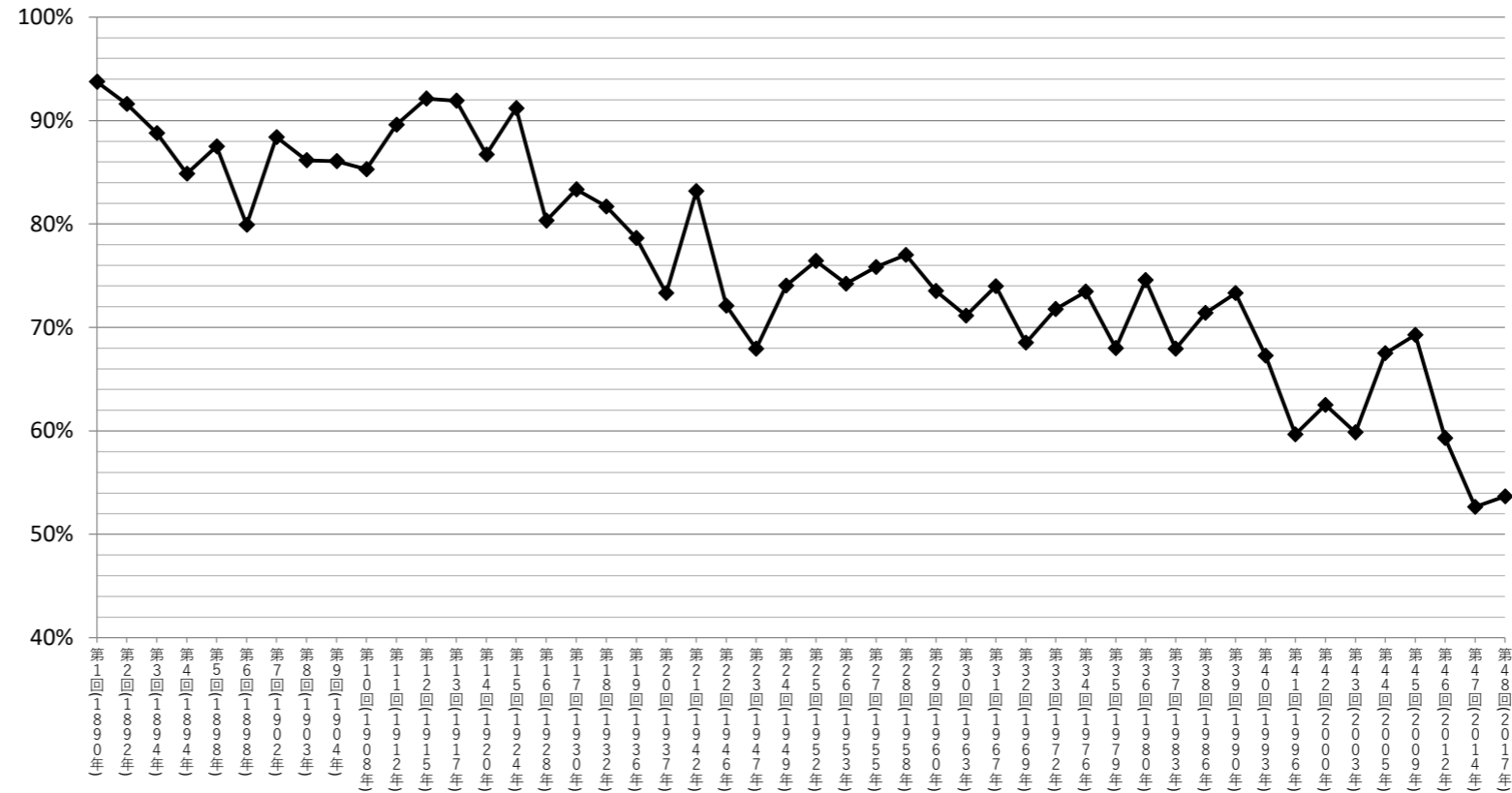


小論文

注意

- 1 問題は **1** と **2** の2題あり、3ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は**六〇分**です。終わりは**午後〇時四〇分**です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 答えはすべて解答用紙に明確に記入し、**解答用紙だけを提出**しなさい。
- 5 **、 や 。 や 「** など**もそれぞれ一字と数えなさい**。
- 6 **受検番号**を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 7 下書きやメモはこの問題冊子の余白を利用しなさい。

【資料1】 衆議院議員選挙における投票率の推移



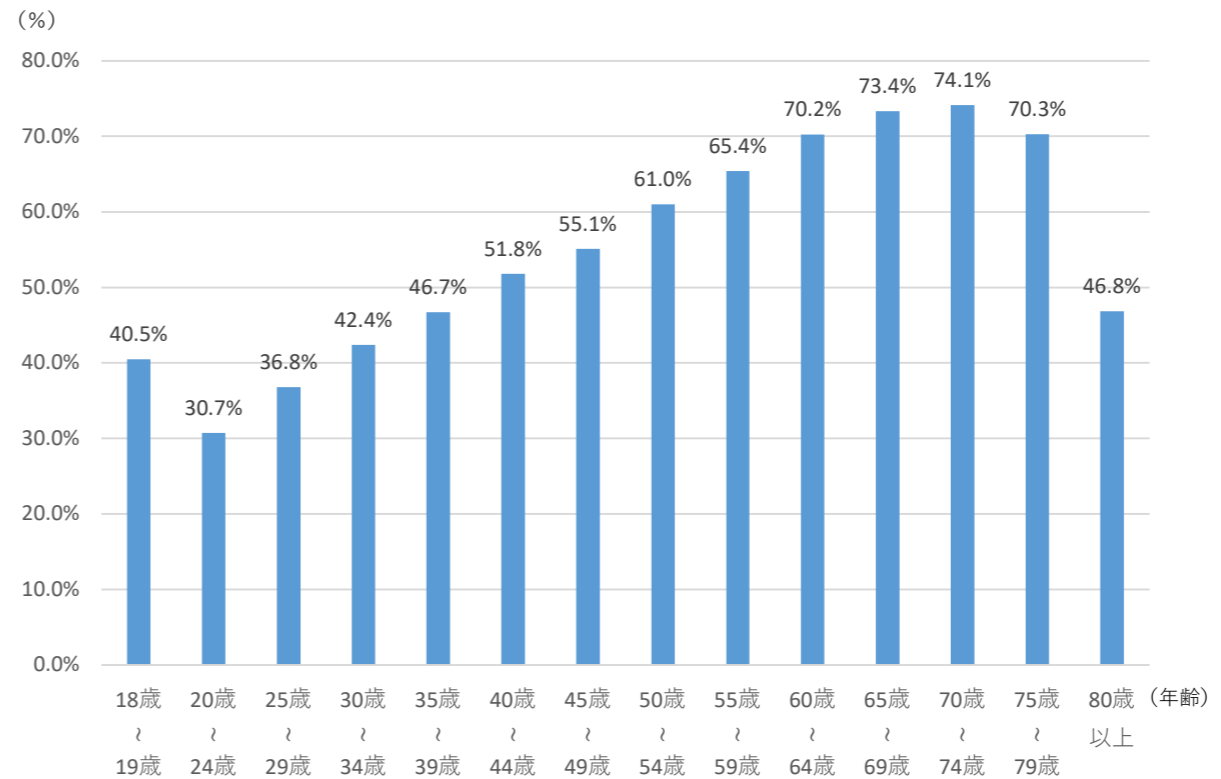
『衆議院総選挙投票率の推移』(公財)明るい選挙推進協会・『統計資料 歴史統計』帝国書院より作成

【資料3】 2017年衆議院選挙における年代別棄権理由の選択率

棄権の理由 ※棄権の理由を並べ、あてはまるものを全て選択する方式	選択率 (%)				
	全体	18歳 〜 20歳代	30歳代 〜 40歳代	50歳代 〜 60歳代	70歳 以上
A 選挙にあまり関心がなかったから	20.4	32.0	33.7	23.5	8.7
B 適当な候補者も政党もなかったから	20.2	18.7	33.2	29.6	13.0
C 仕事があったから	18.9	33.3	33.7	19.1	1.4
D 政党の政策や候補者の人物像など違いがよくわからなかったから	12.9	20.0	17.6	20.9	5.8
E 選挙によって政治はよくなると思ったから	12.4	17.3	19.7	14.8	8.7
F 体調がすぐれなかったから	11.9	4.0	7.3	15.7	52.2
G 解散の理由に納得がいかなかったから	9.5	1.3	11.9	21.7	11.6
H 重要な用事(仕事を除く)があったから	8.9	8.0	14.0	13.0	7.2
I 私一人が投票してもしなくても同じだから	8.9	10.7	15.0	10.4	5.8
J 支持する政党の候補者がいなかったから	8.2	5.3	13.0	12.2	8.7
K 自分のように政治のことがわからない者は投票しない方がいいと思ったから	6.9	20.0	8.3	5.2	5.8
L 天候が悪かったから	5.0	5.3	4.7	7.0	13.0
M マスコミの事前予測を見て、投票に行く気がなくなったから	3.2	1.3	4.7	7.0	1.4
N 投票所が遠かったから	3.0	6.7	1.0	4.3	8.7
O 今住んでいる所に選挙権がないから	1.5	8.0	1.6	0.0	0.0
P その他	7.6	10.7	8.3	5.2	15.9
Q わからない		1.3	1.0	0.9	0.0

出典『第48回衆議院議員総選挙全国意識調査』平成30年7月(公財)明るい選挙推進協会より作成

【資料2】 2017年衆議院議員選挙(小選挙区)における年齢別投票率



『目で見える投票率』平成31年3月 総務省選挙部より作成

1 次の資料は、日本の選挙投票率や選挙棄権理由に関する資料である。【資料1】・【資料2】に触れながら、日本における選挙投票率の課題をあげなさい。また、その課題を改善するためにあなたが考える改善策を【資料3】の内容を活用し、三〇〇字以内で述べなさい。【資料3】の棄権の理由を引用する場合は、文頭のA〜Qの記号で記してもよい。

なお、この問題の解答にあたっては、段落分けの必要はありません。最初のマス目から書き始めること。

2 次の二つの文章を読み、それぞれの内容に触れながら、知識と教養を対比しなさい。その上で、「教養を深める」ことについてのあなたの考えを五〇〇字以内で述べなさい。ただし、段落構成は三段落または四段落とする。

A

物事を考えるとき、僕がいつも大切にしているのは、「タテ・ヨコ・算数」の3つです。

タテ、すなわち昔の歴史を知り、ヨコ、すなわち世界がどうなっているかを知り、それを算数すなわち数字・ファクト（事実）・ロジック（論理）で裏づけていく。そうすることで、メディアやSNSを追いかけているだけではわからないことが見えてきます。日頃からそのような訓練を積み重ねることが、想定外のこと起きたときに生き残る力につながります。

たとえば1年前には、新型コロナウイルス感染症による^{（注1）}パンデミックが起きて、世界中が大混乱に陥ると想像した人は誰もいませんでした。そして起きた事態が深刻なときほど、デマや暴論も大量に発生します。今回のパンデミックでもまさに、「インフォデミック」（主にネット上で噂やデマも含めた大量の情報氾濫し、現実社会に影響を及ぼす現象）と呼ばれる事態になりました。

そのようなときこそ冷静になり、あふれかえる議論の中で、何が真つ当なのかを見分けて判断することが必要になります。「タテ・ヨコ・算数」で考えて、コロナ禍をめぐって起きたさまざまな問題への理解が深まれば、人間はコロナ禍という不幸な経験を通じて賢くなることが出来ます。

B

（出口 治明『自分の頭で考える日本の論点』二〇二一年 幻冬舎新書）

われわれは、花を見て、枝葉を見ない。かりに枝葉は見ても、幹には目を向けない。まして根のことは考えようともしない。とかく花という結果のみに目をうばわれて、根幹に思い及ばない。

聞くところによると、植物は地上に見えている部分と地下にかくれた根とは形もほぼ同形で^{（注2）}シンメトリーをなしているという。花が咲くのも地下の大きな組織があるからこそだ。

知識も人間という木の咲かせた花である。美しいからといって花だけを切ってきて、花瓶にさしておいても、すぐ散ってしまう。花が自分のものになつたのではないことはこれひとつ見てもわかる。

明治以来、日本の知識人は欧米で咲いた花をせつせととり入れてきた。中には^{（注3）}根まわしをして、根ごと移そうとした試みもないではなかったが、多くは花の咲いている枝を切ってもってきたにすぎない。これではこちらで同じ花を咲かせることは難しい。

根のことを考えるべきだった。それを怠っては自前の花を咲かすことは不可能である。

（外山 滋比古『思考の整理学』一九八六年 ちくま文庫）

（注1）パンデミック

病気が世界の複数の地域で同時に大流行すること。感染爆発。

（注2）シンメトリー

左右の大きさ・形・色などの釣り合いがとれていること。対称。均斉。

（注3）根まわし

木を移植するに先立ち、根の周囲を切り詰めて細根を発達させておくこと。